



ワイン通 うれしい? 誤解

興味というものは僕の場合、生と死の問題か、エロスと未知のもの、にかかわることが大半で、あとは、舞台、音楽、と続き、食べること、食べ物、飲み物に対してはほとんど興味がない。

そんなことを露ほど知らない人たちは僕がワインに詳しいだろうと思ってワインを盛んに持ってきてくださるし、僕とレストランに行く時はどうも緊張するらしい。

これらは全くうれしい? 誤解で、僕はアンパンや餃子が好きだし三日間ほどほとんど食べ物が変わらなくても気にならないしお酒はほとんど飲まない。そればかりか食べなくなったらミルクを飲んでいれば良いと思うことが多い。

そんな僕にこのコラムはミスキャスト!

でも反面教師と言うこともある。人生に食べることは大事なんだろうが、人間そのためばかりに生きてないと言う感覚を持つ人間の話を聞いていただきたい。

井上 道義さん(上)



オーケストラ・アンサンブル金沢音
楽監督

そんな僕が「豆腐」というものが美味しいらしい、と知ったのは、京都の嵐山で「ええ? お豆腐ばかりのコース?」と言いながら食べたときの丸い冷奴に「ああ、お豆腐ってこんなに味があるのか」と四十歳で開眼? したときだった。お豆腐を食べる人の気持ち判り、角に頭をぶつけて死ぬためのものでないと知った。

どうやら東京の世田谷育ちの僕は本当に美味しい豆腐を知らなかったらしい。その理由は色々あるが長くなるから割愛する。

でも「クラシック音楽は何が良いか判らない」と言う人もこれと同じなんだろうと思う。本当に良いものだけが人に味を憶えさせるのだから。

だまされたと思ってアンサンブル金沢を聴きに来てみて欲しいな! くらっとさせてやるから。

郷味津々